

三条市医療系高等教育機関の開設に係る懇談会（第5回）

議事概要

- 1 開催日時 平成29年12月4日（月）13時30分～14時00分
- 2 場 所 三条市役所 本庁舎2階 大会議室南側
- 3 出席者 [構 成 員]（敬称略）
水野（座長）、郷、近藤、奥村、金安の各構成員（5名）
[運営事業者]（敬称略）
NSG グループ NSG カレッジリーグ・阿部
[事 務 局]
村上政策推進課長、坂田高等教育機関設置準備室長、阿保主任、
石田一般任用主事
- 4 傍聴者 なし
- 5 報道機関 越後ジャーナル社、ケンオー・ドットコム、三條新聞社、新潟日報社、
日本工業経済新聞社
- 6 配付資料
 - ・資料1 進捗状況について
 - ・資料2 求める人材像に関するアンケート調査について
- 7 会議概要
 - (1) 開会
 - (2) 構成員交代の報告
 - 公益社団法人新潟県看護協会長の交代に伴い、同協会が推薦する者として佐藤たづ子氏から奥村麗子氏に交代となったことの報告があった。
 - (3) 議事
 - 誘致事業者から資料1に基づき、議事(1)「進捗状況について」として、臨地実習先の確保に係る進捗状況や今後の予定について報告があった。
 - 事務局から資料1の「開設に向けた流れ（スケジュール）」について補足説明があった。
 - 各構成員による意見交換が行われた。主な意見は以下のとおり。
 - ・ 看護学科の母性看護学と小児看護学の臨地実習先確保は、中核となる教員の決定後に行うということだが、それで間に合うのか懸念がある。

- ・ 歯科衛生士の臨地実習先についてどのように想定しているか知りたい。
 - ・ 臨地実習先に三条総合病院と燕労災病院を想定しているとのことだが、両病院は県央基幹病院開院後になくなり、県央基幹病院も開院直後は隣地実習の受入れが難しいことが予想される。その点も考慮して、臨地実習先の確保を進める必要がある。
 - 誘致事業者から、上記構成員の意見を受けて回答があった。主な内容は以下のとおり。
 - ・ 母性看護学と小児看護学の臨地実習先については、依頼先の目途は立っており、依頼も平成30年1月～2月には開始しようと考えている。
 - ・ 歯科衛生士の臨地実習先については、県央地区の個人診療所を中心に、学生2人以上を受け入れてくださり、指導ができる経験者がいるところをお願いする予定である。
 - 事務局から資料2に基づき、議事(2)「求める人材像に関するアンケート調査について」の説明があった。
 - 各構成員による意見交換が行われた。主な意見は以下のとおり。
 - ・ 年齢階層別の募集数などを問う形となっているが、医療の現場では、年齢に関わらず募集したいというのが現状だと思われるので、年齢階層にこだわらずに聞いてはどうか。
 - ・ 採用と募集の現状を整理できる聞き方にするとういのではないか。
 - ・ 常勤・非常勤といった働き方についても調査するとよい。
 - ・ 新卒者採用の現状についても調査すると、その病院に新卒者を指導する体制があるかどうかはわかることもあるので、設問に加えてはどうか。
 - 事務局から、上記構成員の意見を反映し、アンケート調査票を修正する旨の発言があった。
- (5) 閉会

了